



第65回 日本形成外科学会総会・学術集会 ランチョンセミナー 14

ビタミンC
最前線

ビタミンC・ビタミンA・グリコール酸

3種併用ピーリング効果～頭皮炎症・痒み抑制効果まで

開催日時

2022年 4月22日(金) 11:30～12:30

会場

第3会場 (ザ・リッツ・カールトン大阪 2F ザ・ガーデンルーム)

【講演セミナー定員：180名】 事前申し込みはございません。当日「整理券」を配布します。詳細は、下記の通りです。

■ランチョンセミナー整理券配布場所：ザ・リッツ・カールトン大阪 2F ホワイエ ランチョンセミナー整理券配布デスク

■配布日時：4月22日(金) 8:00～11:00(無くなり次第終了)

座長：

慶應義塾大学医学部
形成外科学教室

教授 貴志 和生先生



特典

製剤サンプルプレゼント!

アンケートにお答えいただいた方に、製剤サンプルをプレゼントさせていただきます。

製剤サンプルはアンケートと引換えとなりますので、ご記入後は出口付近の弊社スタッフにお渡しください。



クリニックモリ
院長

発表者

森 文子先生

1

ビタミンC・ビタミンA・グリコール酸の
3種併用ピーリングによる色素沈着等に対する臨床効果

ケミカルピーリングは医療機関において広く行われており、グリコール酸等の薬剤により皮膚の再生を促進することにより、様々な皮膚トラブルの改善を促す施術の一つである。今回、両親媒性ビタミンC誘導体GO-VC[®]、レチノール及びグリコール酸の3種併用による効果について検討するため、GO-VC[®]とグリコール酸を配合した製剤とレチノール包接ビタミンC誘導体ナノカプセル製剤の2製剤併用による色素沈着等に対する効果について臨床試験を実施したので、その結果について報告する。



西宮渡辺脳卒中・心臓
リハビリテーション病院
形成外科・美容医療センター
センター長

発表者

梶月 玲子先生

2

両親媒性ビタミンC誘導体GO-VC[®]による
頭皮炎症及び痒みに対する臨床効果

頭皮の炎症は薄毛・脱毛の発生への関与が知られており、頭皮の痒みも掻き動作の誘発により炎症が生じる可能性があることから、頭皮の炎症と痒みの両方を抑えることは薄毛・脱毛を防ぐ上で重要であると考えられる。両親媒性ビタミンC誘導体GO-VC[®]は、近年*in vitro*試験にて炎症・痒みメディエーターの産生を抑制する作用が確認され、頭皮の炎症と痒みの両方に効果を発揮する可能性が考えられる。そこで今回、GO-VC[®]を配合した製剤による頭皮炎症及び痒みに対する効果について臨床試験を実施したので、その結果について報告する。



株式会社アイ・ティー・オー
プロビタミン
リサーチセンター

発表者

永田 武

3

界面活性剤により誘発される炎症・痒みメディエーターに対する
ビタミンC誘導体GO-VC[®]の効果

シャンプー等に配合されているラウリル硫酸ナトリウム(SLS)等のアニオン性界面活性剤は、優れた洗浄力を発揮する一方で、ヒスタミン等の炎症・痒みメディエーターの産生を亢進することが報告されている。我々も近年、SLSによりトロンボキサンA₂(TXA₂)の産生が亢進されることを見出し、このTXA₂もSLSによる炎症や痒みの誘発に関与している可能性が考えられる。今回、両親媒性ビタミンC誘導体GO-VC[®]の新たな機能として、TXA₂を含む炎症・痒みメディエーターに対する効果について詳細に検討したので、その結果について報告する。



株式会社アイ・ティー・オー

<https://ito-provitamin.co.jp>

[MAIL] ito@provitamin.jp
[TEL] 0120-31-6588